

4. 国の政治のしくみ(3)

【教科書 P.100～109】

§ 1. 裁判所の仕組みと働き

- (1) 法 … 社会の中で生活していくための決まり
→ 権利を守り、社会の秩序を保つ。争いや犯罪を裁く基準
- (2) … 法に基づいて紛争を解決すること = 裁判
- (3) 裁判所 … 裁判の仕事を担当 → と
高等・地方・家庭・簡易裁判所
- (4) … 裁判を慎重に行い、人権を守るためのしくみ
第一審 → → 第二審 → → 第三審
- (5) … 裁判官は自らの良心に従い、憲法および法律のみに従って
裁判を行う ← 国会、内閣の干渉を受けない
※ 心身の故障、弾劾裁判、国民審査を除いて、在任中の身分は保証

§ 2. 裁判の種類と人権

- (1) … 私人の争いについての裁判
国や地方公共団体を相手にする場合 → 行政裁判
◎ 訴えた人 訴えられた人
- (2) … 犯罪行為について、有罪・無罪を決定 ← 罪刑法定主義
- ① … 警察官と犯罪を捜査し、罪を犯した疑いのある の
容疑がかたまと裁判所に起訴する
- ② … 起訴された被疑者

- (3) 裁判と人権保障 … 裁判官が出す がないと、逮捕・捜索は不可
公開裁判・黙秘権・弁護人を依頼する権利・推定無罪の原則

§ 3. 裁判員制度と司法制度改革

- (1) … 裁判を利用しやすくするための改革
日本司法支援センター（法テラス）の設置
- (2) … 国民が （6人）として重大な刑事裁判に
参加し、裁判官（3人）とともに有罪・無罪や刑の内容を
決める
※ 地方裁判所で行われる第一審のみの参加
- (3) 冤罪を防ぐために取り調べを可視化、被害者参加制度、検察審査会の設置

§ 4. 三権の抑制と均衡

- (1) … 国の権力が立法・行政・司法の三権に分けられ、抑制と均衡に
よって、一つの機関に権力が集中することを防ぐしくみ
- (2) … すべての裁判所が、法律や国の行為が憲法に違反していな
いかどうかを審査する制度

◎ 最高裁判所が最終決定権をもつ → 「」

